

Title	Media Clock System : 笑顔の連鎖を生み出す経験デザイン
Sub Title	Media Clock System : Experience design through smile chain
Author	下沖, 光浩(Shimooki, Mitsuhiro) 奥出, 直人(Okude, Naohito)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>MCS(Media Clock System)は家族や友人の間でネットワークを介して笑顔の連鎖を生み出すコミュニケーションメディアである。本論文ではMCSがもたらす感情豊かなコミュニケーション経験について述べる。</p> <p>デザインに時計の概念を用いたMCSは、一般家庭のリビング環境において、時計を見るという日常的な動作をきっかけとした新しいコミュニケーションを提供する。日常生活を通して、対面コミュニケーションが難しくなっている家族や友人との間に、家庭内で気配を感じたり、道端で友人とばったり出会ったような偶発性のある"つながり感"をサポートするのである。</p> <p>本システムは、顔認識や笑顔認識を組み込んだソフトウェアとHDカメラ付きの液晶モニタを有するコンピュータで構成されている。ネットワークを介して非同期に笑顔映像を伝え合うことで、"つながり感"のある気軽で言葉のいらぬコミュニケーションを実現する。</p> <p>本論文では、MCSのデザインプロセスおよびプロトタイプについて述べる。さらにMCSを使用することによって得られる経験をユーザスタディと質的データ分析によって明らかにする。</p>
Notes	修士学位論文. 2010年度メディアデザイン学 第88号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002010-0088

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2010年度 修士論文

Media Clock System
笑顔の連鎖を生み出す経験デザイン

下沖 光浩

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

下沖 光浩

指導教員：

奥出 直人 教授 (主指導教員)

稲蔭 正彦 教授 (副指導教員)

審査委員：

奥出 直人 教授 (主査)

稲蔭 正彦 教授 (副査)

太田 直久 教授 (副査)

Media Clock System

笑顔の連鎖を生み出す経験デザイン

内容梗概

MCS (Media Clock System) は家族や友人の間でネットワークを介して笑顔の連鎖を生み出すコミュニケーションメディアである。本論文では MCS がもたらす感情豊かなコミュニケーション経験について述べる。

デザインに時計の概念を用いた MCS は、一般家庭のリビング環境において、時計を見るという日常的な動作をきっかけとした新しいコミュニケーションを提供する。日常生活を通して、対面コミュニケーションが難しくなっている家族や友人との間に、家庭内で気配を感じたり、道端で友人とばったり出会ったような偶発性のある ” つながり感 ” をサポートするのである。

本システムは、顔認識や笑顔認識を組み込んだソフトウェアと HD カメラ付きの液晶モニタを有するコンピュータで構成されている。ネットワークを介して非同期に笑顔映像を伝え合うことで、 ” つながり感 ” のある気軽に言葉のいらぬコミュニケーションを実現する。

本論文では、MCS のデザインプロセスおよびプロトタイプについて述べる。さらに MCS を使用することによって得られる経験をユーザースタディと質的データ分析によって明らかにする。

キーワード

経験デザイン, ナチュラルユーザーインターフェイス, ユビキタスコンピューティング, 笑顔, コミュニケーション, インタラクションデザイン, アウェアネス

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

下沖 光浩

Media Clock System

Experience Design Through Smile Chain

Abstract

MCS (Media Clock System) is a new communication media, which produces smiles among families and friends through a network.

MCS, with a design conceptualized in clock, stimulates a new type of light-hearted communications in ordinary family's living environment. In dairy life, even among family members, face-to-face communications go less and less. By people watching the "clock", it is considered that there will be a feeling like coming across dear friends in coincidence, or just sensing family's attentiveness, which we say, a "connection".

This system is composed of computer with a liquid crystal monitor inside, in which HD camera and software of facial recognition are installed. By sharing the videos of smiling faces through network asynchronously, we consider that a feeling of "connection" would be generated without words, and without reserve.

Keywords:

Experience Design, Natural User Interface, Ubiquitous Computing, Smile, Communication, Interaction Design, Awareness

Graduate School of Media Design, Keio University

Mitsuhiro Shimooki